



米倉商事株式会社



未利用資源の有効活用

- 本社所在地：北海道滝川市本町2丁目6番4号
- 事業概要：肥料・飼料・農業畜産資材販売、米集荷販売
- 常時使用する従業員・・・47名  
（グループ全体 令和6年6月期）
- 現在の売上高：72億円  
（グループ全体 令和6年6月期）
- 法人番号：2430001048803
- Web：https://yonekura-g.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
米倉 隼一

## 持続的な成長で地域と社員の豊かさを創造し未来を担う企業へ

私たち米倉グループは、創業以来、地域社会に支えられ、農業、畜産業、エネルギー、生活関連サービスを通じて、お客様の豊かさと地域社会の発展に貢献してまいりました。より高品質で革新的な製品・サービスを提供し、お客様の事業の成功と豊かな生活を力強くサポートします。環境に配慮した持続可能な農業への貢献も強化してまいります。雇用の創出、地域経済の活性化、そして北海道の未来をより豊かにする原動力となります。また災害時にも頼られる存在として、地域インフラの安定維持に貢献します。社員が一人ひとりが誇りとやりがいを持って働ける、より魅力的な職場環境と待遇を実現します。専門性を高め、自己実現を追求できる機会を提供し、共に成長し続けます。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

- 2032年のグループ売上高100億円達成に向け、年平均5%以上の成長を目指します。
- ・基盤強化期（当初2～3年）：グループシナジーの最大化、既存事業の深耕と収益性向上、DX基盤の構築
  - ・成長期（中期3～4年）：高付加価値製品・サービスの本格展開、新規市場への進出、戦略的M&Aの実行
  - ・定着拡大期（最終1～2年）：新規事業の収益化、市場開拓の深耕化

### 課題

- ・基幹事業の収益性
- ・グループ間の事業の連動性の創造
- ・新規領域（エリア、商品）の開拓
- ・業務パートナーの探索
- ・人時生産性の向上や危機管理等の事業の強靱化対策

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

1. 基幹事業（飼料・肥料・石油）の進化と深耕：
  - ・商品の高付加価値化、PB商品開発・販売の推進、地域密着戦略の強化
2. グループシナジーの最大化による新たな価値創造：
  - ・「製販一体」の強化：丸中サンエー商事・品田飼料工業の製造機能と、米倉商事・道東トモエ商事・米倉エネルギーの販売網に連携させる
3. 新規市場・新規事業への戦略的挑戦：
  - ・未開拓エリアへの進出
  - ・地域の未利用資源を活用した、有機飼料および肥料の製造販売
4. M&A・業務提携の積極活用
5. 生産体制増強、BCP策定、DX推進による経営基盤強化

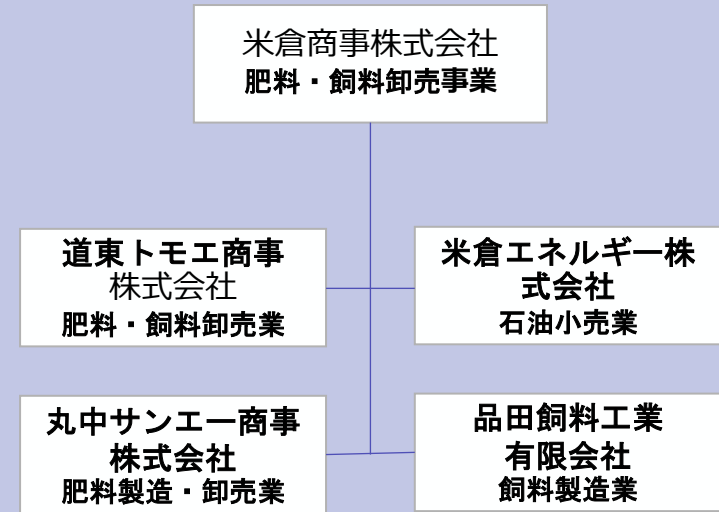
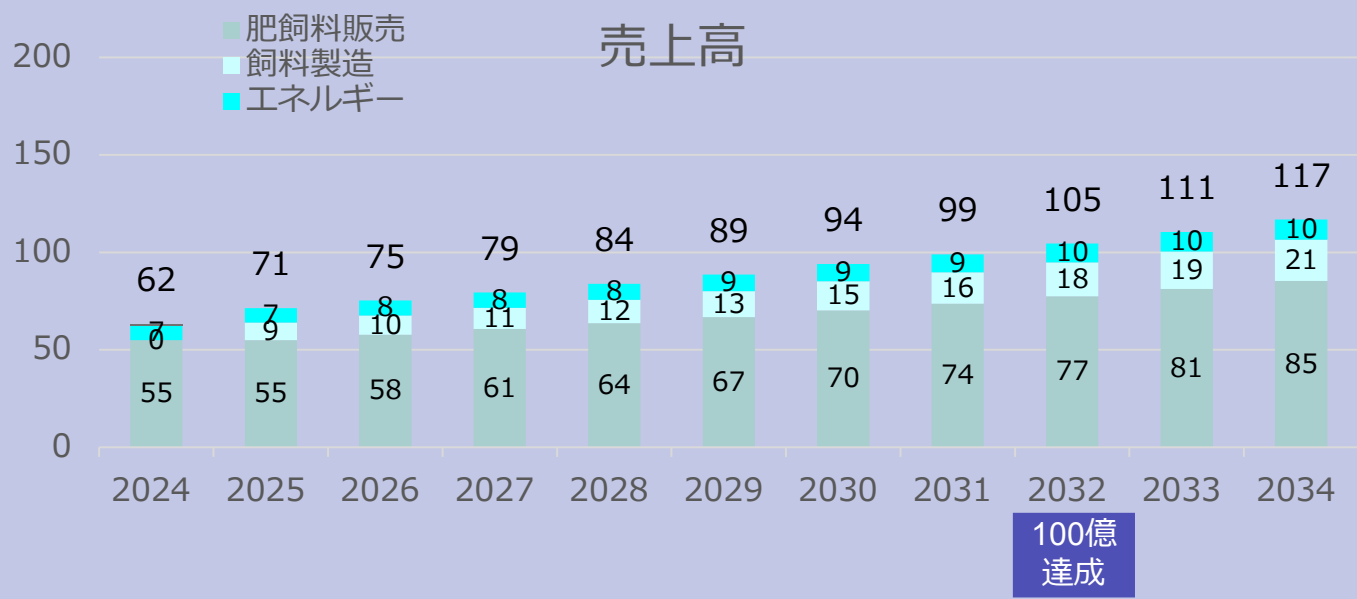
### 実施体制

1. 米倉グループプロジェクト本部の設置：グループ全体の戦略策定、重要事項の意思決定、リソース配分、進捗管理を一元的に行う
2. 各戦略テーマ別ワーキンググループの組成：「高付加価値製品開発」「新規市場開拓」「DX推進」「BCP策定」など、専門チームを編成
3. 人材育成・組織開発体制の強化：次世代リーダー育成プログラム、専門スキル研修の実施および公正な評価制度と、成果に応じた報酬体系を整備
4. 目標設定とモニタリング体制の確立：全社・各社・部門ごとの明確な目標（売上、利益、市場シェア、新規顧客獲得数など）を設定し、月次・四半期での進捗レビュー会議を実施し、PDCAサイクルを徹底
5. 外部専門家・機関との連携：税理士、ITコンサルタント、大学等の研究機関と連携し、専門的な知見やネットワークを活用

## 売上高100億円実現に向けたグループ全体の取り組み

### グループ連携体制：

- ・戦略共有と目標の一致：「100億円プロジェクト推進本部」を通じて、グループ全体の戦略と目標を共有する
- ・情報共有の促進：グループウェア、顧客管理システムを共通基盤とし、リアルタイムな情報共有とコミュニケーションを活性化する
- ・機能分担と専門性の尊重：各社が持つ強み（製造、販売、地域ネットワーク、専門技術）を最大限に活かし、弱みを相互補完する体制を構築する
- ・共同プロジェクトの推進：PB商品開発、新規市場開拓、DX推進など、グループ横断的なプロジェクトチームを組成し、実行力を高める。



## 売上高100億円実現に向けたグループ全体の取り組み

米倉グループは、中核企業である米倉商事株式会社を中心に、以下のグループ各社がそれぞれの専門性と強みを活かし、連携を密にすることで、売上高100億円という共通の目標達成を目指す

### ・米倉商事株式会社

- ・ 事業全体の進捗管理と意思決定及び米倉グループ内連携の調整機能を担う。補助事業全体の計画立案、スケジュール管理、予算管理、リスク管理を主導し、遅滞なく円滑に事業が推進されるよう全体を統括する。最終的な意思決定の責任を負う。新規開発商品の広域販売戦略とマーケティングを主導する。財務・法務・総務、知財などの管理機能と対外的な窓口機能を果たす

### ・道東トモエ商事株式会社（肥料・飼料卸売業）

- ・ 道東地区における強固な販売網と顧客基盤を活かし、高付加価値な肥料・飼料の拡販を推進。地域農業のニーズを的確に捉え、グループ全体の製品開発に貢献する

### ・米倉エネルギー株式会社（石油小売業）

- ・ エネルギー供給における地域No.1を目指し、産業用燃料の拡販、生活関連サービスとの連携による顧客接点の拡大を目指す。農業分野へのエネルギーソリューション提案を推進し、グループシナジーを創出をする

### ・丸中サンエー商事株式会社（肥料製造・卸売業）

- ・ 羊蹄地区を拠点とした肥料販売に加え、十勝地区に進出を目指す。高品質な肥料開発力を活かし、グループ全体のPB商品開発やオーダーメイド肥料の開発を担う

### ・品田飼料工業有限会社（飼料製造業）

- ・ 畜産農家の多様なニーズに応える飼料製造ノウハウを活かし、機能性飼料の開発・製造や地域資源（国産未利用原料）活用をしていく。安全・安心な飼料供給体制を確立し、グループの畜産関連事業を強化を担う